

# 競 技 注 意 事 項

## 1. 規 則

本大会は、2017年度日本陸連競技規則ならびに大会要項に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮した教育的配慮のもとに競技を進行する。

## 2. 練習について

- (1) 走・跳競技はバックストレート側を使用する。ジャベリックボール投げは、陸上競技場西側、多目的グラウンドの東端を使用する。
- (2) 全て練習は、審判員及び係の指示によって行うものとするが、監督又は引率責任者、競技者も危険防止を十分留意し練習を行うこと。

## 3. 競技者の招集について

- (1) 競技者は、競技に出られる服装（ナンバーカードを付けた状態）で、招集時刻完了5分前に競技者控え所に集合し、競技者係の点呼とユニフォームナンバーカードの確認を受け待機する。  
※招集に遅れた場合は棄権とみなすので、十分気をつけること。
- (2) トラック競技は、招集所で腰ナンバーカードを受け取り、右腰やや後方に付ける。  
招集時刻は、競技日程の欄のとおりとする。時間は、競技開始時刻を規準とする。

種 目	ラウンド	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	予 選	30分前	20分前
	準 決 勝	30分前	15分前
	決 勝	30分前	15分前
フィールド競技		60分前	40分前

## 4. 入場について

競技者は、招集完了と同時に係員の指示に従い競技場に入場し、競技終了後も指示に従い、規律ある行動をとること。

## 5. 走路順について

- (1) 100m、80mハードル、4×100mリレーの走路順は、プログラム記載のレーン番号とする。
- (2) 準決勝・決勝の走路順は、本部で抽選し招集所及び記録掲示板に掲示する。

## 6. 4×100mRのオーダー提出について

リレーオーダー用紙は、決勝のみ提出する。6枚綴りを作成し、競技開始1時間前に招集所競技者係に提出する。（リレーオーダー用紙は、招集所に用意する。）

## 7. 競技方法について

- (1) スパイクは、9mm以下の平行ピンとする。ただし、走高跳、ジャベリックボール投は、12mm以下とする。
- (2) 素足での競技は、禁止する。（夏季のオールウェザー走路は、火傷の危険があるため。）
- (3) トラック競技におけるフライング失格については、旧来のルールを適用し、同一人が2回不正スタートをした場合、失格とする。
- (4) スタートは、クラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートでもよい。
- (5) リレー競技におけるテークオーバーゾーン手前からの助走マーク（10mの補助ゾーン）の使用を認める。
- (6) 80mハードルは、スタートから第1ハードルまで13m、インターバル7m、最終ハードルからフィニッシュ11m、ハードルの高さ70cm、台数9台とする。
- (7) 走幅跳は、全員3回の試技を行い、その後上位8名の者が、さらに3回の試技を行う、同一方向の2カ所（A、B）ピットで行う。

- (8) 走高跳の跳躍方法は、はさみ跳びとし、マットへの着地は足裏からとし、背や腰からの着地は無効試技とする。なお、同順位が複数出た場合は、順位決定戦を行う。

【バーの上げ方は次のとおりとする。】

男子	1m05 (練習)	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	以降3cm
女子	1m05 (練習)	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	—	以降3cm

- (9) 4×100mR、80mH予選は、タイムレースとして、上位8チーム、8名を決勝に進出させる。オープン種目男女1000mは、タイムレースにより順位を決定する。
- (10) ジャベリックボール投は男女とも、ジャベボールを使用し、投てき回数は、1人3回とする。場所はやり投げピット(約29°)を使用し、助走は15m以内とする。

#### 8. 表彰について

1位、2位、3位に、日清食品賞として、金、銀、銅メダルと賞状を授与し、表彰を行う。(オープン1000mは、栃木陸協より、金、銀、銅メダルと賞状を授与する。)4位～8位までは、賞状を随時渡す。

#### 9. 全国大会の選手団編成並びに参加資格について

種別	種目		選手	指導者
リレー (2種目)	男子	4×100m	5名	総監督を含む 指導者4名  (支援コーチ :最大4名) ※支援コーチの 旅費等は、自己負担での参加
	女子	4×100m	5名	
単独種目 (12種目)	男子	6年 100m	1名	
	女子	6年 100m	1名	
	男子	5年 100m	1名	
	女子	5年 100m	1名	
	男子	80mハードル	1名	
	女子	80mハードル	1名	
	男子	走幅跳	1名	
	女子	走幅跳	1名	
	男子	走高跳	1名	
	女子	走高跳	1名	
	男子	ジャベリックボール投	1名	
	女子	ジャベリックボール投	1名	
			22名	4名+4名

- (1) 選手は、小学校5・6年生の年齢に該当する児童。
- (2) 指導者は、出場するリレーチーム及び単独種目のそれぞれの担当者。
- (3) 総監督は、選手団の都道府県陸上競技協会が推薦する指導者。
- (4) 選手選考は、本要項の段階を経ること。
- (5) 本大会出場にあたっては、〇〇小学校といった名称を使用しての出場も認められる。(30回大会より)
- (6) リレーチームの編成は、各都道府県選考会に参加した時点で編成されたチームである。
- (7) 同一人が2種目を兼ねて出場することはできない。(リレーも1種目とする)

#### 10. その他

- (1) 医務室は、スタンド下に置く。
- (2) 開会式については、別に指示する。
- (3) 選手の服装は、見苦しくないように注意する。
- (4) 更衣については、男女とも、スタンド下の更衣室を使用する。
- (5) 盗難防止には、各自十分留意する。